

協力して高度な文明を築くこともできれば、互いに憎しみあい戦争することもある。このような「ヒトらしさ」はどのように進化してきたのでしょうか？進化の隣人であるチンパンジーやボノボを中心に様々な動物との比較を通して、心や社会が進化してきた道筋について考えてみたいと思います。

Lecture series

—研究の最先端—

no.169

レクチャーシリーズでは、様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2026年度は、4名の先生方に研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。中高生も大歓迎です。



アクセス
京阪電車「出町柳駅」より
徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より
徒歩約2分。
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



化石に残らない心の進化： 動物研究を通して「ヒトらしさ」の起源を探る



2026.08.29
sat.
10:30~12:00

山本 真也

京都大学 人と社会の未来研究院

<先生からのメッセージ>

「動物が好き」で始めた研究ですが、興味は私たち自身であるヒトにも向いています。現代社会は様々な問題を抱えていますが、この解決方法を探るには本質的な人間理解が欠かせません。動物たちを通して、「人間とは何か」を見直すきっかけになれば幸いです。

<会場>

ミュージラボ（総合博物館1階 自然史展示室内）

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。（ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。）

<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

①（左上）コンゴ民主共和国ワンバの野生ボノボ
②（右上）ギニア共和国ボソウの野生チンパンジー
③（中）愛犬アビーと
④（右下）ポルトガル・アルガ山の再野生ウマ
撮影：山本真也

